

ヘルパー

三尾弘明さん（ケアステーションみのり）

高校を卒業後働いていたが、その後精神疾患になり療養生活を送る。今では働けるまでに回復し、2013年1月より大阪府門真市にある「ケアステーションみのり」のヘルパーとして就職。2014年4月より「生活介護事業所ほにいず」の生活支援員を兼務。ヘルパーに従事するなかで、ピアスタッフとしての役割も生まれ、日々奮闘しています。

30代の頃に精神疾患になり入院。退院後に精神障害者社会復帰適応事業を利用し、障害者雇用で働く。いくつかの職場を経験、現在は飲食店にて勤務。プライベートではボウリングに熱中。

飲食店

総合病院

会社勤めしている時に病気になり、就労移行支援事業所を経て、総合病院にて働く。不安もあったけれど、慣れてきた。同僚や上司に恵まれている。

働く精神障害者のリアルトーク

就職のきっかけ、
働き続けるコツ、
職場の人間関係、
みんなどうしてる？
4人の当事者が語る。

1992年生まれ。高校の頃に不登校を経験。事務職の契約社員、就労移行支援事業の利用を経て、現在は特例子会社で障害者や関係者に向けたSNSの運営事務局員として働く。趣味は映画鑑賞。

特例子会社

基調講演

三尾弘明さん
(ケアステーションみのり)

シンポジウム

三尾さん + 企業で働く当事者3名

日時

2016 **9.24** (土)

入場無料

申込不要

13:30 ~ 15:40 (13:00 開場)

場所

三田市総合福祉保健センター 多目的ホール

※手話要約筆記の利用は9/9までに下記までお申込みください。

■ 主催・問い合わせ：三田市精神障害者支援センター

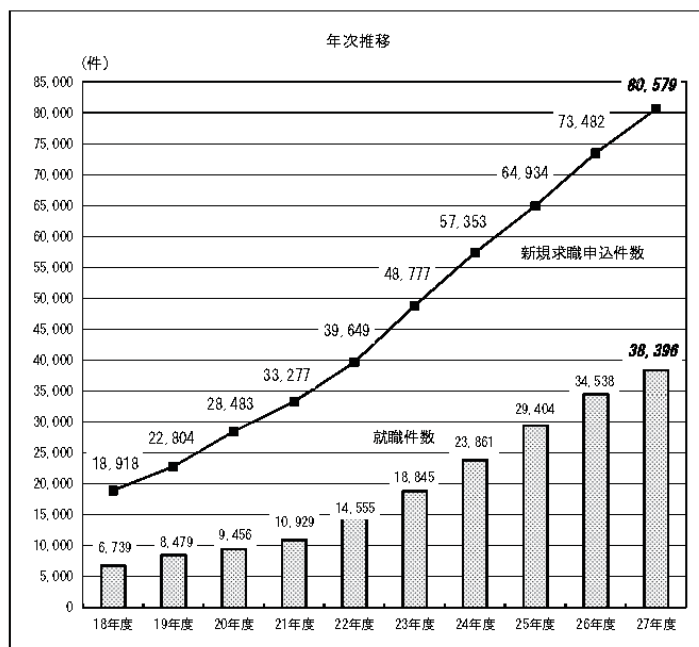
Tel:079-556-5075 Fax:079-556-5275

E-mail npo.asunaro@honey.ocn.ne.jp Web <http://npo-asunaro.org/>

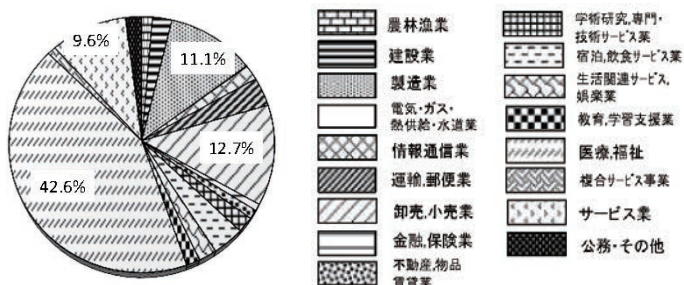
働く障害者のリアルトーク

厚生労働省発表資料から

精神障害者の職業紹介状況



精神障害者の産業別就職状況 (H27)



講演会企画の想い

企業で働く精神障害者が増加しています。厚生労働省によると、ハローワークを通じた精神障害者の就労件数は3万8千件を越えました。また、2018年から障害者雇用促進法の改正により、障害者手帳を持つ精神障害者の雇用が義務づけられ、いっそう雇用が進むと期待されています。

*

働いている精神障害のある当事者は、就職を考えている当事者やその家族にとって、参考にしやすい人たちです。たとえ話をすると、学校などで進学先や就職先を選ぶときに、あるいは部活動を選ぶときに、先輩の話を参考にしませんでしたか？働く当事者の話を聴くことは、学校での先輩の話を聴くことと似ています。

*

講演会では、企業で働く当事者が、発症や診断を受けるきっかけ、現在にいたるいきさつ、職場での業務内容や人間関係、勤務を続けるためのコツについて話します。これから働く人たちにとって、働くイメージづくりになればと考えています。すでに働いている人にとっても他の人たちはどのように働いているのか知ること、自分が働き続けるためにも役立つかもしれません。

三田市総合福祉保健センターのアクセス

● 住所・電話番号

〒669-1514 兵庫県三田市川除 675 番地

tel: 079-559-5700

※ 講演会の問い合わせは下記までお願いします。

● 駐車スペース

161 台 (障害者用 8 台)



■ 三田市精神障害者支援センターについて

特定非営利活動法人あすなろが、三田市より業務委託を受けて、2010年4月から運営しています。精神障がいのある人やその家族が、住みなれた地域で安心して暮らしていくために、精神保健福祉士による専門相談や福祉サービスの利用相談、その他の相談、情報提供等をおこなっています。また、講演や研修会などの普及啓発活動も行なっています。

● アクセス・連絡先

JR 三田駅から徒歩 8 分。

お車で越えの際は市役所市営駐車場をご利用ください。

〒669-1513 兵庫県三田市三輪 1 丁目 8 番 11 号

tel: 079-556-5075 (三田市精神障害者支援センター)

tel: 079-562-5531 (法人代表)

npo.asunaro@honey.ocn.ne.jp

http://npo-asunaro.org/